

令和2年度 広域交流拠点整備事業地下水調査業務委託 調査結果概要

試掘調査孔仕様

調査孔径 : 管径 150A
掘削深度 : 地表より 60m

▽地表



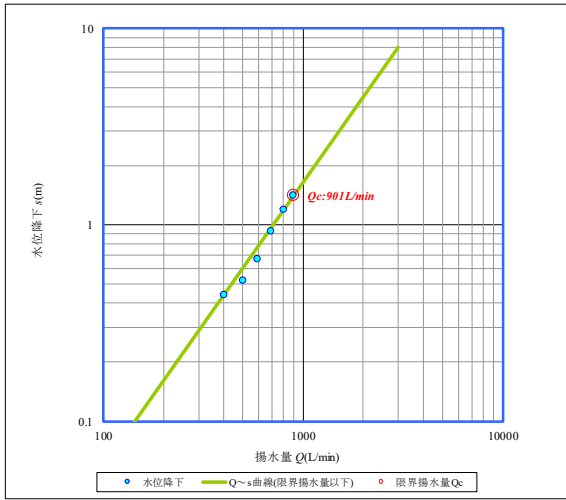
層	厚 (m)	柱状図	地質		ケーシングパイプ		深度 (m)	井戸構造	透図	
			色	地質名	標準番号	管径 (mm)				種類
2.0	2.0			表土	①	22	2.75	貫孔	2.25	
5				粘土	②	21	2.75	貫孔	3.00	
					20	2.75	貫孔	7.75		
					19	2.75	貫孔	10.00		
12.0	10.0			粘土混じり砂礫	③	18	2.75	貫孔	13.25	
					17	2.75	貫孔	16.00		
					16	2.75	貫孔	18.75		
20.0	8.0			砂礫	④	15	2.75	貫孔	21.00	
					14	2.75	貫孔	24.25		
					13	2.75	貫孔	27.00		
					12	2.75	貫孔	29.75		
					11	2.75	貫孔	32.50		
					⑩	2.75	貫孔	35.25		
					⑨	2.75	貫孔	38.00		
					⑧	2.75	貫孔	40.75		
					⑦	2.75	貫孔	43.50		
					⑥	2.75	貫孔	46.25		
				⑤	2.75	貫孔	49.00			
				④	2.75	貫孔	51.75			
				③	2.75	貫孔	54.50			
				②	2.75	貫孔	57.25			
				①	2.75	貫孔	60.00			

取水箇所(スリットスクリーン)

試掘調査孔の構造

揚水試験結果

限界揚水量(最大揚水量※)	Qc	901 L/min
限界揚水量揚水時の水位降下量		1.41 m
限界揚水量以下のQ~s曲線の傾き		55.3 度
※本試験の結果、限界揚水量は確認できなかったことから、最大揚水量を限界揚水量と仮定した。		
適正揚水量		720 L/min
(適正揚水量は、限界揚水量の 80% として求めた。)		
適正揚水量揚水時の水位降下量		1.02 m



試験で使用可能なポンプ能力の範囲内では限界揚水量が確認されず、ポンプの最大能力となる901L/minを限界揚水量とした。

同地点で井戸管径を大きくし、揚水能力の高いポンプを使用した場合、より多くの揚水量が得られる可能性があるが、詳細な検討には別途調査が必要となる

水質分析結果

検査項目	単位	検査成績	基準値	検査項目	単位	検査成績	基準値
一般細菌	個/ml	8	100以下	塩化物イオン	mg/L	21	200
大腸菌	—	陰性	—	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	110	300
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003 未満	0.003	蒸発残留物	mg/L	250	500
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005 未満	0.0005	陰イオン界面活性剤	mg/L	0.02 未満	0.02
セレン及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.01	ジェオスミン	mg/L	0.000001 未満	0.00001
鉛及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.01	2-メチルイソボルネオール	mg/L	0.000001 未満	0.00001
ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.01	非イオン界面活性剤	mg/L	0.0005 未満	0.02
六価クロム化合物	mg/L	0.002 未満	0.02	フェノール類	mg/L	0.0005 未満	0.005
亜硝酸態窒素	mg/L	0.004 未満	0.04	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.2 未満	3
アミン化合物(有機窒素)及び塩化アミン	mg/L	0.001 未満	0.01	pH値	—	6.9	5.8~8.6
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	2.7	10	味	—	異常なし	異常でないこと
フッ素及びその化合物	mg/L	0.16	0.8	臭気	—	異常なし	異常でないこと
ホウ素及びその化合物	mg/L	0.10	1.0	色度	度	0.5 未満	5
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	0.002	濁度	度	0.1 未満	2
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005 未満	0.05	有機リン	mg/L	0.01 未満	—
シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.0002 未満	0.04	過マンガン酸カリウム消費量	mg/L	1.0	—
ジクロロメタン	mg/L	0.0002 未満	0.02	以下余白			
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0002 未満	0.01				
トリクロロエチレン	mg/L	0.0002 未満	0.01				
ベンゼン	mg/L	0.0002 未満	0.01				
亜鉛及びその化合物	mg/L	0.01 未満	1.0				
アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.02 未満	0.2				
鉄及びその化合物	mg/L	0.12 未満	0.3				
銅及びその化合物	mg/L	0.01 未満	1.0				
ナトリウム及びその化合物	mg/L	18	200				
マンガン及びその化合物	mg/L	0.017	0.05				
判定	上記水質項目については水質基準に適合。						
備考	本日の検査成績は不適合です。検査方法及び基準値は平成15年厚生労働省告示第261号による。有機リン、過マンガン酸カリウム消費量の検査方法は上水試験方法による。工事名：令和2年度 広域交流拠点整備事業地下水調査業務委託						

水道法原水調査 40項目
食品衛生法に基づく項目のうち2項目
実施全項目において、水質基準に適合する結果であった。